

各関係機関の長  
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

令和6年度病害虫発生予察特殊報第2号について

令和6年度病害虫発生予察特殊報第2号を発表したので送付します。

## 令和6年度病害虫発生予察特殊報第2号

1 病害虫名：*Palpifer hopponis* (Matsumura, 1931)  
(コウモリガ科の一種)

2 作物名：サトイモ

### 3 発生確認の経過

令和6年(2024年)2月、県西部の令和5年産サトイモ(赤芽)において、一部の塊茎部に黄褐色のイモムシ型の幼虫の寄生が確認された(図1、2)。本虫を飼育したところ、約3ヶ月後に塊茎表面に蛹殻と茶褐色のガの成虫が確認された(図3、4)。

農林水産省門司植物防疫所および元 北九州市立自然史・歴史博物館 学芸員 上田 恭一郎氏に本虫の同定を依頼した結果、国内未発生のコウモリガ科の一種(*Palpifer hopponis*)であることが判明した。

なお、令和6年産サトイモにおいては、発生は認められなかった。

### 4 国内外の発生状況

国外では台湾での発生が確認されているが、日本国内での発生は確認されていない。

### 5 本種の特徴

#### (1) 寄主植物

サトイモ(塊茎部)

#### (2) 形態

成虫は開長<sup>\*1</sup>が雄22~24mm、雌26~38mm(図5、6)。頭部、胸部は茶褐色の長毛に覆われる。前翅後翅ともに地色は暗褐色で、前翅は細長く小毛に覆われ、前翅の中室基部に顕著な白斑がみられる。

※1 翅を左右に広げたときの両方の翅の先端から先端までの長さ。

### 6 防除対策

(1) 現在、本虫に対する登録農薬はないため、見つけ次第捕殺する。

(2) 本虫の発生が疑われる場合は、総合農業試験場病害虫防除・肥料検査課(病害虫防除・肥料検査センター)に連絡する。



図1 サトイモ塊茎部で確認された幼虫



図2 幼虫上面



図3 羽化後の蛹殻



図4 羽化した成虫



図5<sup>※2</sup> 雄成虫



図6<sup>※2</sup> 雌成虫

※2 図5～6は農林水産省門司植物防疫所より提供。

《連絡先》

宮崎県総合農業試験場 病害虫防除・肥料検査課  
(病害虫防除・肥料検査センター) 田爪・松浦

TEL : 0985-73-6670 FAX : 0985-73-2127

E-mail : byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp

HP : [https://hinatamafin.pref.miyazaki.lg.jp/soshiki/noshi\\_byogai/index.html](https://hinatamafin.pref.miyazaki.lg.jp/soshiki/noshi_byogai/index.html)

